

チャペル週報

No.20

2015.10.26 ~ 10.30

もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。
神である主が僕たちを照らし、
彼らは世々限りなく統治するからである。

(ヨハネの黙示録 22章5節)



山川記念館

関西学院宗教センター

All Saints' Dayを前に～変身願望と自己改革と

福 島 旭

11月1日はカトリック教会で「諸聖人の日」という祝日（日本キリスト教団では11月第一日曜日が「聖徒の日」）である。天国で神のもとにいる人々に思いをはせる記念日で、「万聖節」とも呼ばれ、「お盆」の風習に類似している。英語で“All Saints' Day”と表記されるこの日の知名度は低い。ところがそれとは対照的にその前日、10月31日は今やクリスマスに追いつく勢いで祝われるようになった。その有名な日とは“All Hallows' Eve”、つまりその短縮略語の「ハロウィン」だ。“Hallow”は“Saint”の古語形で「聖人」を意味する。「ハロウィン」の語意は「諸聖人の日の前夜」ということになる。だが、「ハロウィン」キリスト教の暦にはなく、その起源はケルト民族のドルイド教に遡るとされている。

なぜ、「ハロウィン」が前夜祭としてのみならず、何週間もの間、派手に祝われるようになったのか。もちろん営利目的な商品販売の宣伝効果があるには違いない。しかし他にも、特に若い世代のこころを動かした起因があるのではないだろうか。有名なテーマパークでは、約20年前から秋の恒例行事として「ハッピー・ハロウィン」が開催され、最近では「ハロウィン・ホラー・ナイト」と銘打って集客する施設もある。そして、そこに共通しているのは集団での仮装体験である。興味深いのは、「楽しい」仮装と「怖い」仮装が共存していることだ。

もともとの「ハロウィン」は亡くなった人々が地上にやって来る日に、その中に混ざっている悪霊を寄せ付けないための魔除けの習慣であった。ところが、いつの間にか、その悪霊自身に変身したり、魔除けのカボチャを身に付けたりして、みんな堂々と仮装して、日常の自分から一時的に脱皮する目的を達成して楽しむ日になっている。

堅苦しい言い方だが、死者や悪魔に仮装する非日常的な体験を通して得られる思いの中に、私は素朴な宗教性を見出ししている。生と死、日常と非日常といった境界を越えて自分を見つめ、また死者への思い抱く体験はとても大切である。それは元々の宗教の果たすべき役割の一つでもあったはずだ。私自身、高校生の時の文化祭で、クラスの仲間と共に現代には存在しない武士の格好で町を歩いた仮装行列の体験は、思い出以上の何かになっている。

ちなみにこの10月31日は「宗教改革記念日」でもある。「ハロウィン」がその由来に関係のない形式的な行事となってしまうのではなく、自己や日常を見つめ直し、問いかけ、改革する契機としてのこれからの新しい風習に変わっていくことを密かに仮想している。

（中学部宗教主事）

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月26日(月) 神 聖歌隊による音楽礼拝
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 出会い⑩ 梓 川 一 (人間福祉学部准教授)
聖和 聖書物語 祝宴への招待
理 前 川 裕 (宗教主事)
-
- 10月27日(火) 神 シリーズチャペル④ 私にとっての世界市民とは 東 よしみ(神学部助教)
文 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 秋の音楽チャペル② ゴスペルクワイア "P.O.V."
法 宗教改革記念
経 大学生生活オリエンテーションPart2 (予備日①)
商 アジア学院訪問報告 (学生参加者)
国 聖徒の日をおぼえて
聖和 チャペルオルガニスト・コンサート
理 有 澤 慎 一 (日本基督教団八尾東教会牧師)
総 宗教総部献血実行委員会
-
- 10月28日(水) 神 家 山 華 子 (神学研究科D2)
法 English Chapel Rev. Kennis Lam(Okamoto Church)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (Missionary)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 宗教改革記念日を覚えて 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 国際学部のために 黒 田 敦 志 (国際学部職員)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 関西学院聖歌隊
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 10月29日(木) 神 岡 嶋 宙 士 (神学研究科M1)
文 音楽チャペル Clock Tower Gang & Sing Elections
社 社会学部東日本震災ボランティア報告
法 「世界市民とは?」 東 よしみ (神学部助教)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
商 月 岡 靖 智 (商学部助教)
国 English Chapel Jason MacVaugh (国際学部准教授)
聖和 「子どもと死」をめぐる小見のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
総 朴 勝 俊 (総合政策学科教授)
-
- 10月30日(金) 院 加 納 和 寛 (神学部助教)
神 シリーズチャペル⑤ 私にとっての世界市民とは 中 道 基 夫 (神学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (Chaplain)
経 大学生生活オリエンテーションPart2 (予備日②)
人 出会い⑫ 池 埜 聡 (人間福祉学部教授)
聖和 讃美歌のふしぎ 山 内 信 子 (聖和短期大学専任講師)
理 前 川 裕 (宗教主事)
-

●第200回記念ランバス演奏会

「バッハ:ゴルトベルク変奏曲」全曲演奏会

1961年から開催しております「ランバス演奏会」が200回を迎えます。記念演奏会となる今回はバッハのスペシャリストによるチェンバロ演奏をお楽しみください。<入場無料>

演奏者: 高田 泰治(日本テレマン協会)

と き: 11月7日(土) 13:30開場 14:00開演

ところ: 関西学院ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター

●オルガン音楽の泉 2015 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第7回 11月19日(木) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第8回 12月4日(金) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12:50~13:20(12:40開場予定)

ところ: 関西学院中央講堂

問合せ: 宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405教室)

10月主題:「創立126周年をおぼえて」

10月29日(木) 田淵 結(宗教総主事)

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月16日(月) 聖歌隊&バロックアンサンブルによる音楽チャペル

ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)10:35~11:05

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第5回 11月5日(木) 18:30~20:00

第6回 1月7日(木) 18:30~20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。